



2017年3月期決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2017年5月12日

本日発表のポイント

1. 2017年3月期 連結決算:

- 計画比では、営業利益は、メキシコなど新興国でのカー市販の売上未達による売上総利益の減少や、費用削減の未達による原価率の悪化により下回った。当期純損益も、海外での事業構造改善費用が増加したことや、訴訟和解金が増加したことにより悪化し、損失となった
- 前期比では、営業利益は減益。カーOEMは売上減により赤字となり、増益を計画していたカー市販は、海外向けカーオーディオの導入時期の変更、国内向けカーナビゲーションシステムのモデルミックス、新興国向け売上の低迷により、前期並みとなった。当期純損益も、特別損失の計上等により損失となった

2. 2018年3月期 連結業績予想:

- 売上は、前期並みの3,900億円、営業利益は原価率の改善により増益の100億円、当期純利益は35億円の黒字化を見込む

本日の説明

1. 2017年3月期 連結決算
2. 2018年3月期 連結業績予想

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2017年3月期 連結決算

2017年3月期：連結業績概要

(単位:億円)

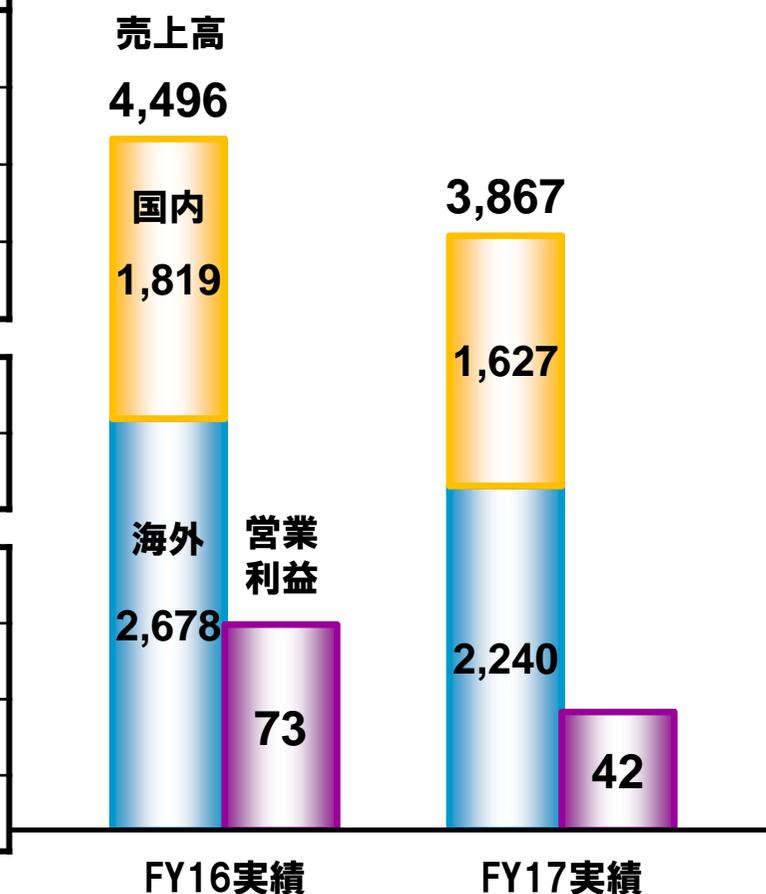
	FY17実績	FY16実績	前期比
売上高	3,867	4,496	86.0%
営業利益	42	73	57.1%
経常利益	30	73	40.9%
当期純損益*	-51	7	-

為替 平均レート	1USDドル	108.38円	120.14円	-10.9%
	1ユーロ	118.79円	132.58円	-11.6%

1株当たり純損益*	-13.76円	1.99円	-15.75円
ROE	-6.0%	0.8%	-6.8%
1株当たり純資産	224.72円	233.32円	-8.60円
ROA	-1.7%	0.2%	-1.9%

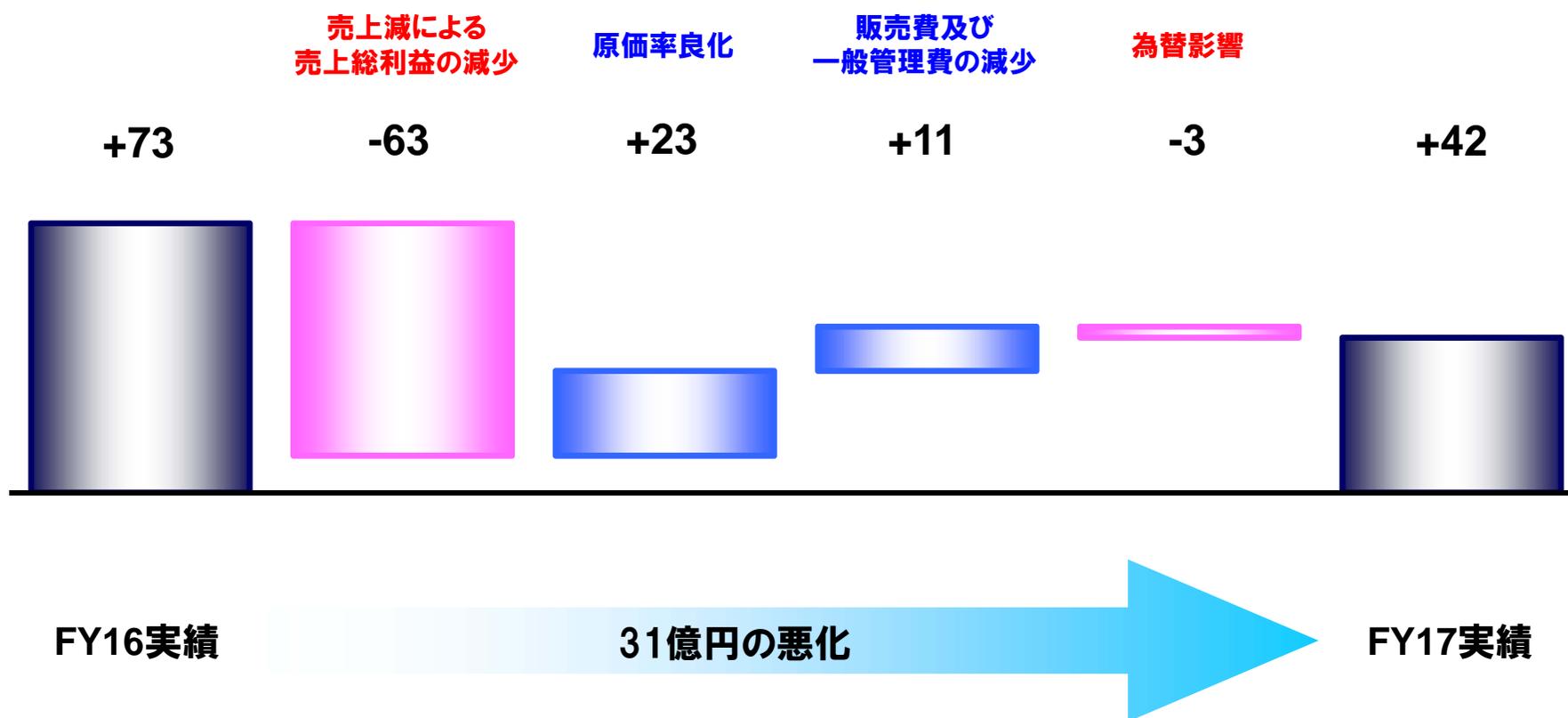
* 親会社株主に帰属する当期純損益

(単位:億円)



2017年3月期：営業利益増減要因

(単位：億円)

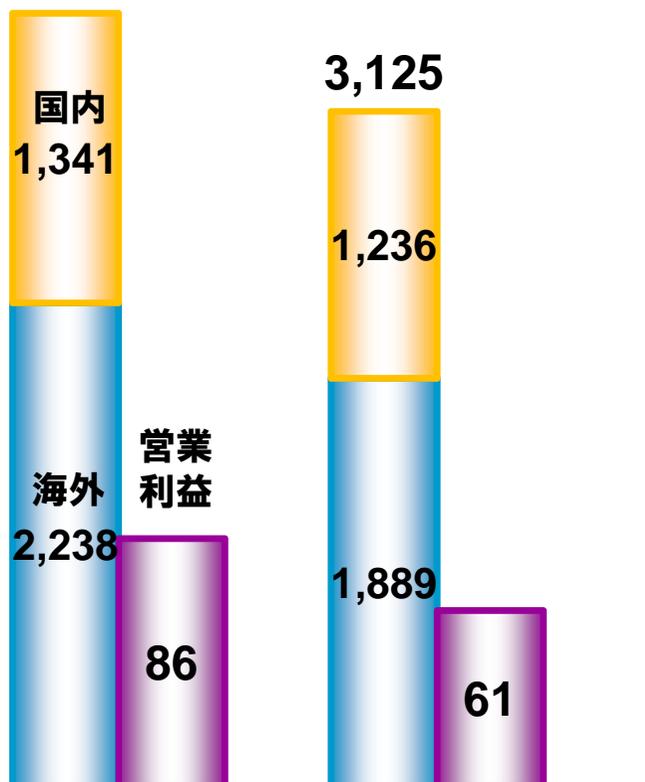


2017年3月期：カーエレクトロニクス

売上高
3,578

(単位:億円)

< 売上高 > OEM比率 58% (前期 60%)



前期比	87% (国内 92%、海外 84%)
増収要因	地図ソフト
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム OEMカーオーディオ 市販カーオーディオ

< 営業利益 >

前期比	25億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+20億円) 為替影響(+2億円)
悪化要因	売上減に伴う売上総利益の減少(-44億円)

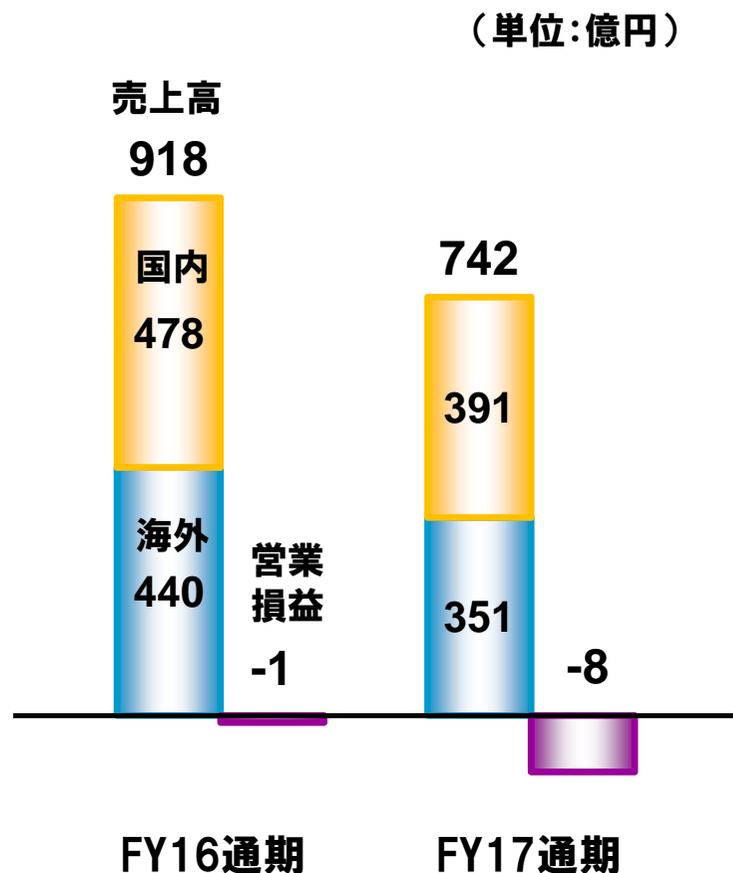
※ 当セグメントに含まれる主要製品:
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー、地図ソフト

FY16通期

FY17通期

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前期の金額についても組替表示しています。

2017年3月期：その他



< 売上高 >

前期比	81% (国内 82%、海外 80%)
増収要因	FA機器
減収要因	ホームAV、光ディスクドライブ、DJ機器

< 営業損益 >

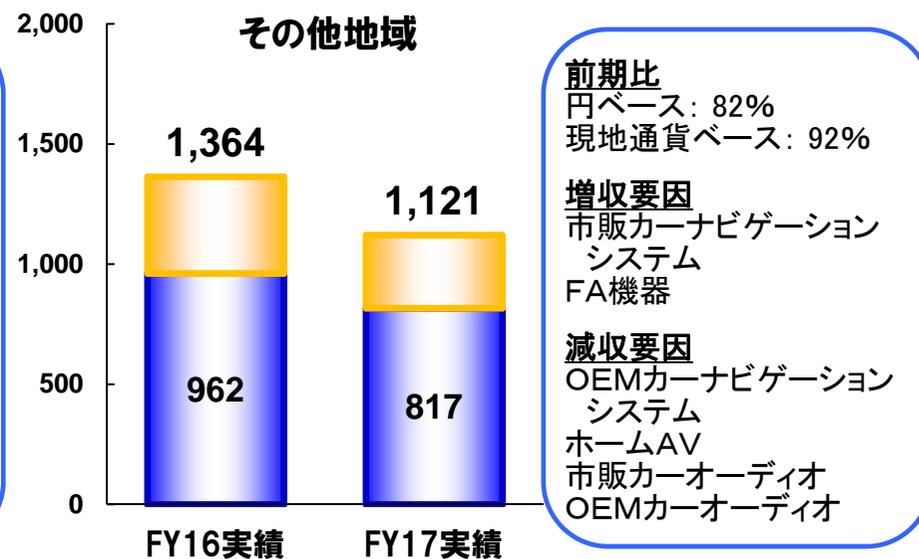
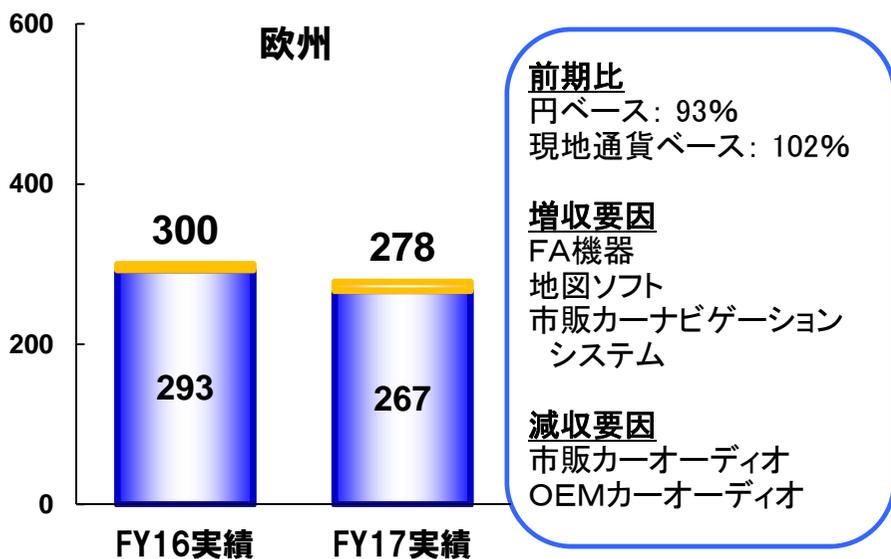
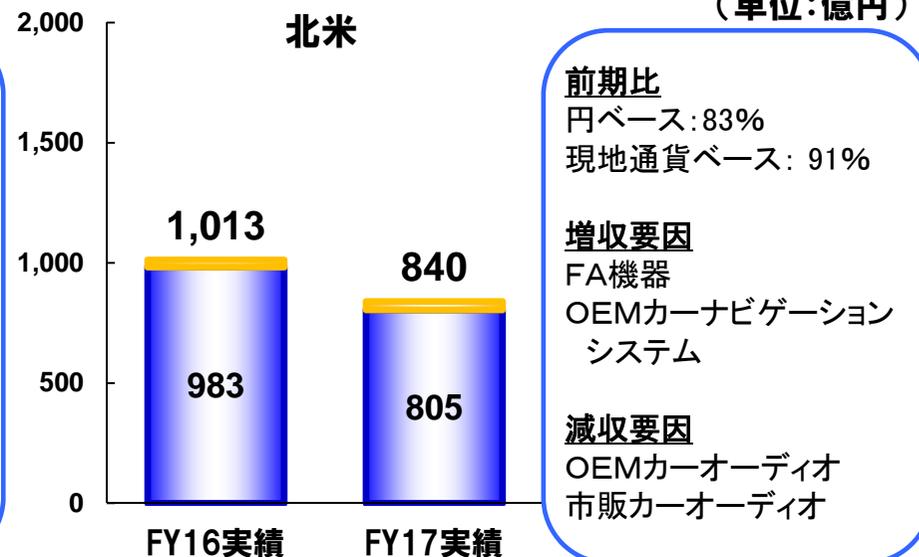
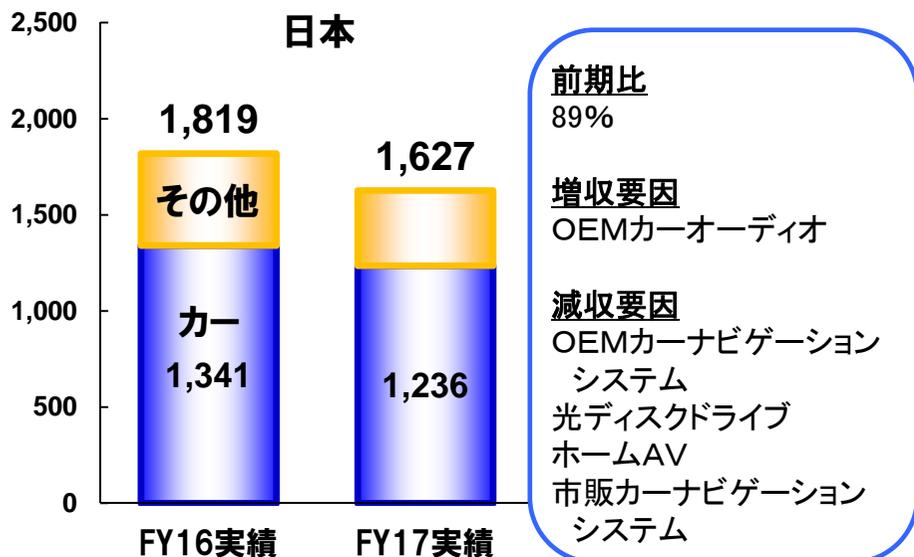
前期比	6億円の悪化
良化要因	原価率の良化(+24億円)
悪化要因	売上減に伴う売上総利益の減少(-19億円) 販売費及び一般管理費の増加(-7億円) 為替影響(-5億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
光ディスクドライブ関連製品、CATV関連機器、FA機器、
電子部品、有機ELディスプレイ、DJ機器(生産・販売受託)、
ホームAV

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前期の金額についても組替表示しています。

2017年3月期：地域別売上高

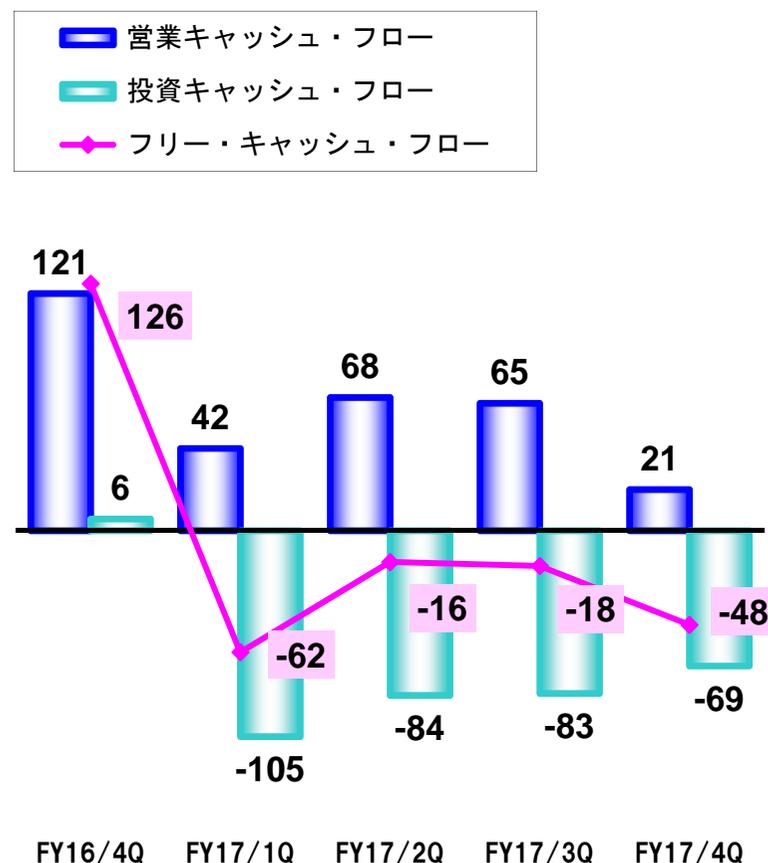
(単位:億円)



2017年3月期：連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

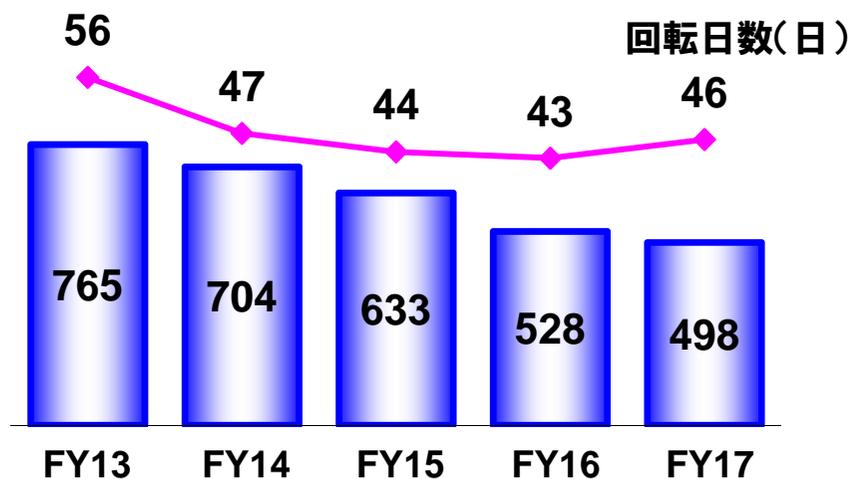
	FY17通期	FY16通期
税金等調整前当期純損益	-23	49
減価償却費	249	271
事業譲渡損益	12	-1
売上債権の増減	73	9
棚卸資産の増減	29	60
仕入債務の増減	-67	-5
未払費用の増減	-1	-96
その他	-76	-94
営業キャッシュ・フロー	196	193
投資キャッシュ・フロー	-340	-201
財務キャッシュ・フロー	14	34
現金・現金同等物の換算差額	-6	-23
フリー・キャッシュ・フロー	-144	-8
現金・現金同等物の増減	-136	3
現金・現金同等物の残高	384	520
NETキャッシュ残高	-8	147



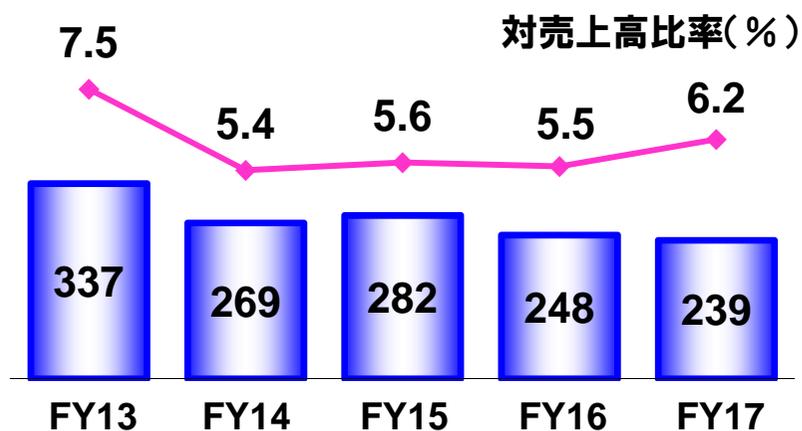
2017年3月期：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位：億円)

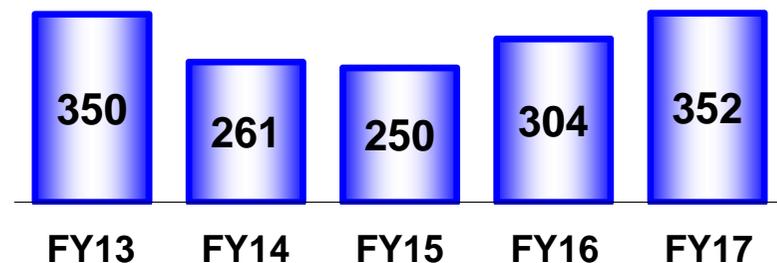
棚卸資産



研究開発費



設備投資



減価償却費



2. 2018年3月期 連結業績予想

2018年3月期：連結業績予想

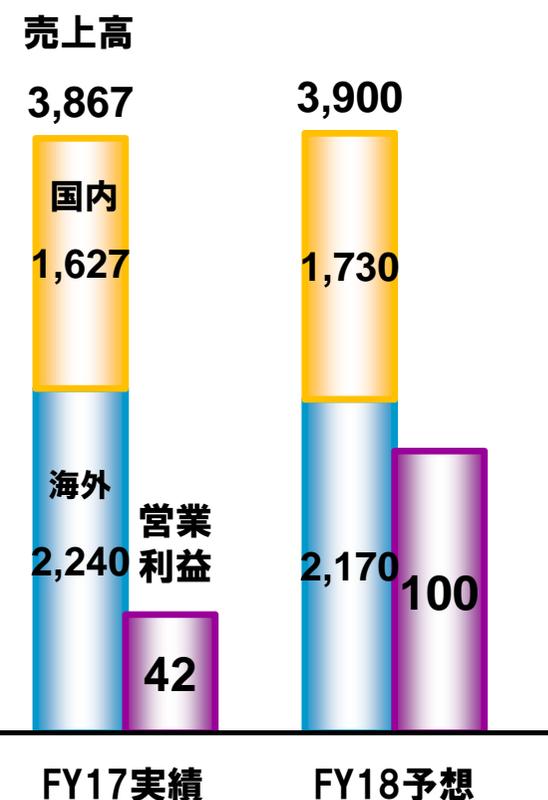
(単位:億円)

	上期		通期	
	FY18予想	FY17実績	FY18予想	FY17実績
売上高	1,820	1,904	3,900	3,867
営業利益	20	15	100	42
当期純損益*	-10	10	35	-51
1株当たり純損益*	-2.72円	2.63円	9.53円	-13.76円
ROE			4.2%	-6.0%
1株当たり純資産			234.25円	224.72円
ROA			1.2%	-1.7%

* 親会社株主に帰属する当期純損益

為替 前提レート	1USDドル	110円	105.29円	110円	108.38円
	1ユーロ	118円	118.15円	118円	118.79円

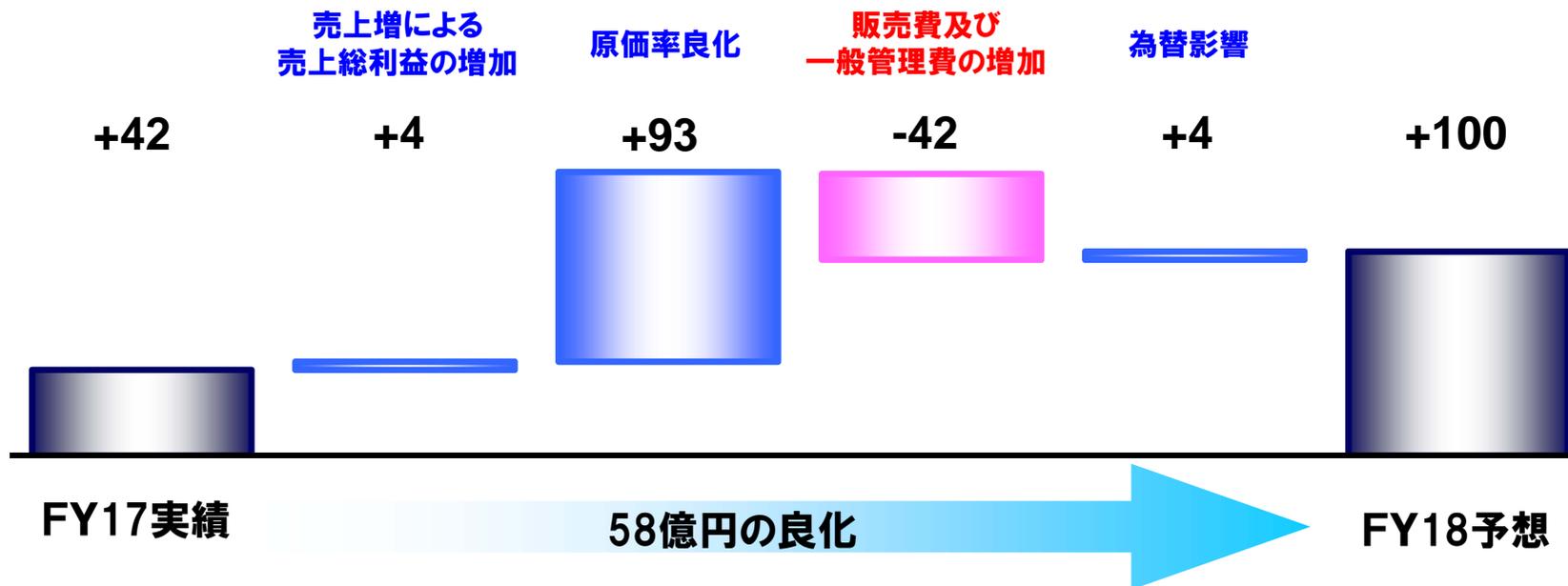
(単位:億円)



注) 1円の円高インパクトは、売上高では、USDドルは▲約18.4億円、ユーロは▲約2.1億円、営業利益では、USDドルは+約0.2億円、ユーロは▲約1.5億円。

2018年3月期予想： 営業利益増減要因

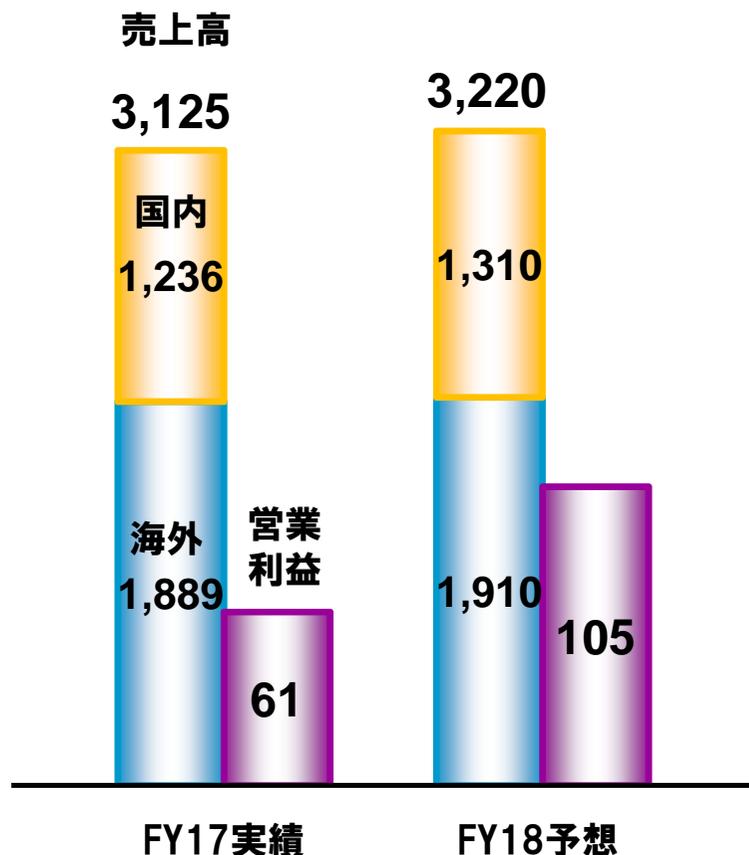
(単位：億円)



- カー市販の増収等により売上総利益は増加
- カーエレクトロニクスにおける新製品への切り替え効果や減価償却費の減少により原価率は良化
- カーエレクトロニクスの売上増に伴う販売変動費の増加や、自動運転関連など研究開発費用の増加により、販売費及び一般管理費は増加

2018年3月期予想：カーエレクトロニクス

(単位:億円) < 売上高 > OEM比率 57% (前期 60%*)



前期比	103% (国内 106%、海外 101% (現地通貨ベース 100%))
増収要因	市販カーオーディオ
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

前期比	44億円の良化
良化要因	原価率の良化 売上増に伴う売上総利益の増加 為替影響
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加

< 出荷台数 > (単位:千台)

	FY17実績	FY18予想
市販カーナビ	568*	580
市販カーCD	5,834	6,200
市販カーAV	1,367	1,650

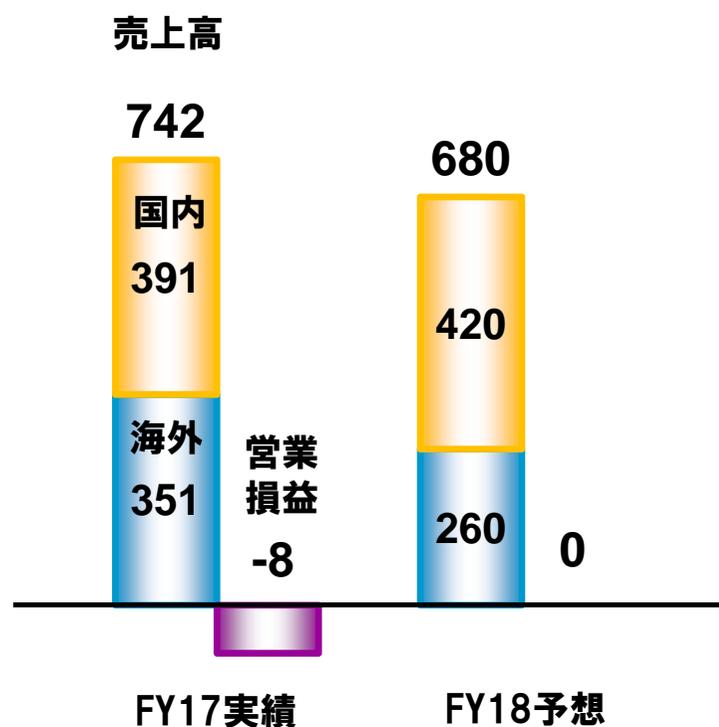
* 従来「市販」で集計していた海外のカーナビゲーション システムの一部を、FY18から「OEM」に変更しています。これに伴い、FY17の数値についても組替表示しています。

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー、地図ソフト

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2018年3月期予想：その他

(単位:億円) < 売上高 >



前期比	92% (国内 108%、海外 74%(現地通貨ベース 74%))
増収要因	DJ機器、FA機器
減収要因	ホームAV、CATV関連機器(事業譲渡)

< 営業損益 >

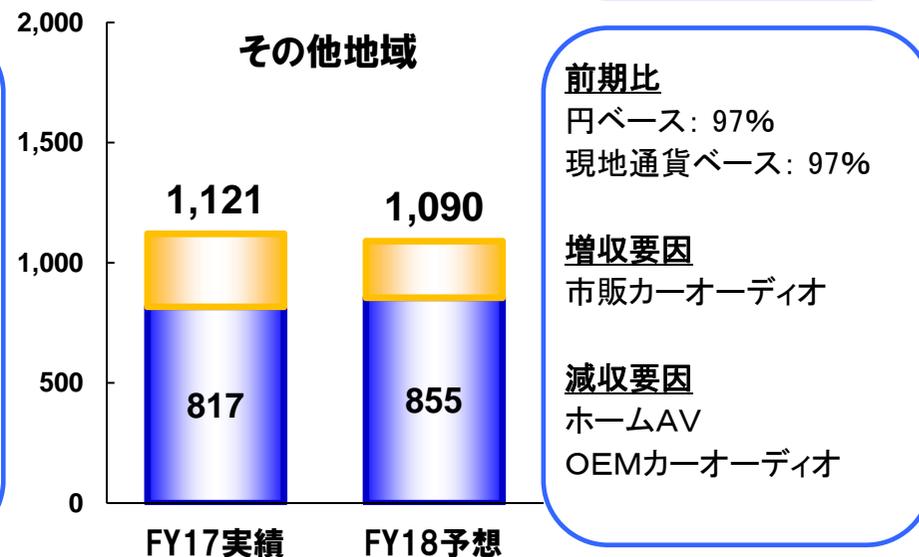
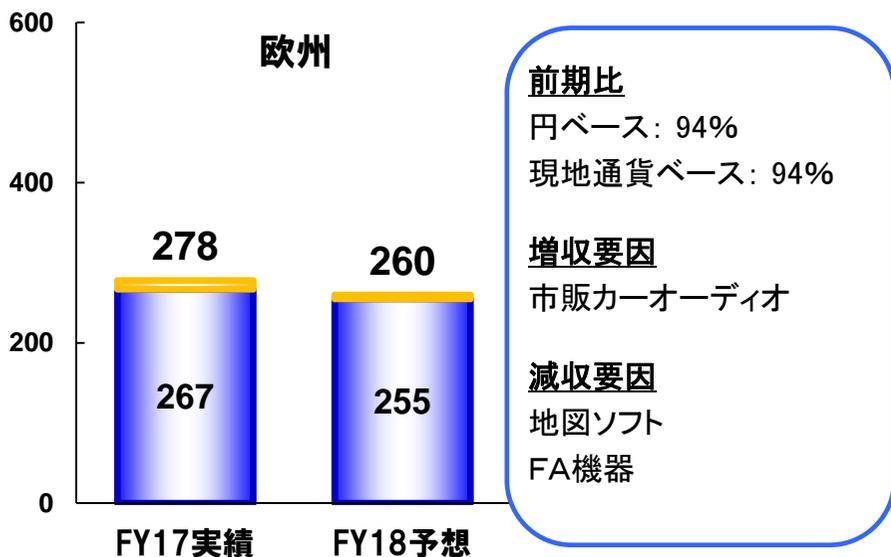
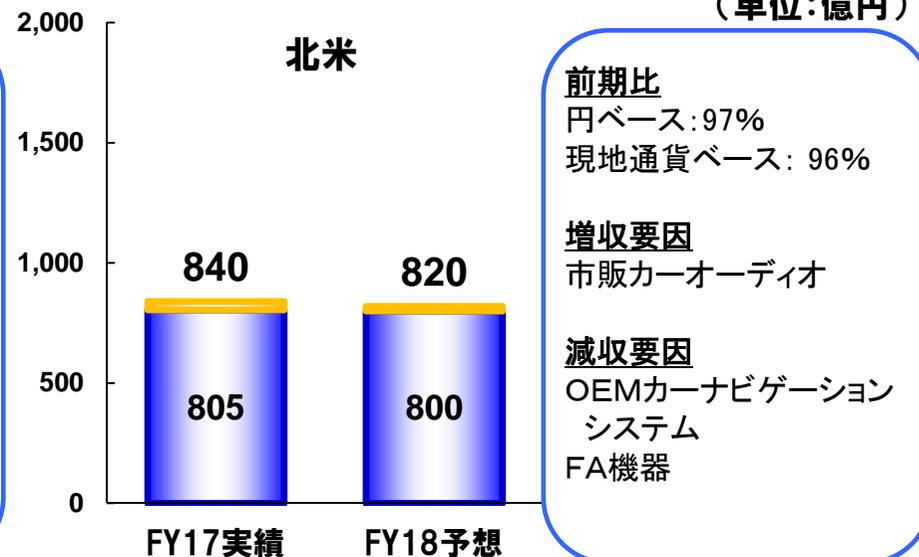
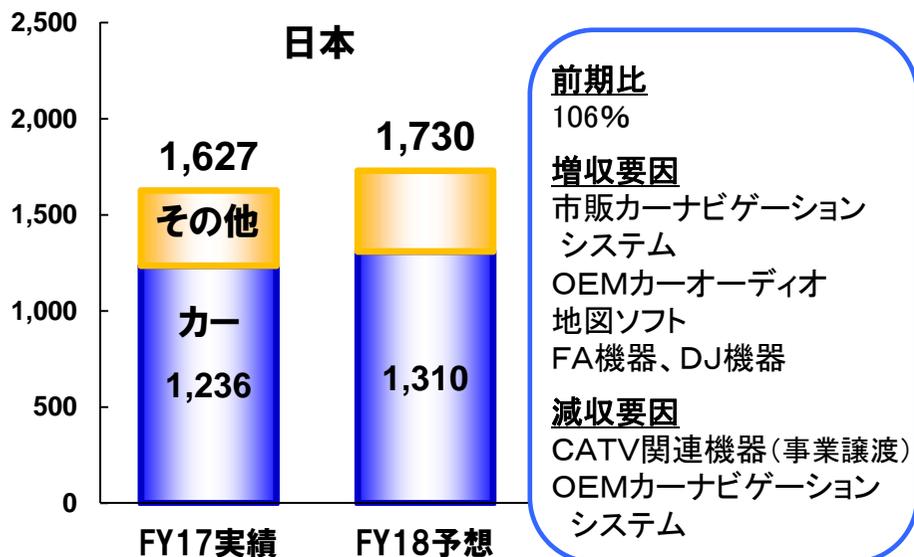
前期比	8億円の良化
良化要因	原価率の良化 販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	売上減に伴う売上総利益の減少

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
光ディスクドライブ関連製品、FA機器、電子部品、
有機ELディスプレイ、DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2018年3月期予想：地域別売上高

(単位:億円)



2018年3月期予想：財務指標

(単位:億円)

	FY16実績	FY17実績	FY18予想
研究開発費 (売上高比率)	248 (5.5%)	239 (6.2%)	250 (6.4%)
設備投資	304	352	350
減価償却費	271	249	215
棚卸資産	528	498	520
営業キャッシュ・フロー	193	196	230
投資キャッシュ・フロー	-201	-340	-360
財務キャッシュ・フロー	34	14	-5
フリー・キャッシュ・フロー	-8	-144	-130
純資産	905	868	900
自己資本比率	29%	29%	30%
D/E比率	0.4倍	0.5倍	0.4倍
NETキャッシュ残高	147	-8	-130

注) D/E比率=有利子負債÷(純資産-非支配株主持分)

2018年3月期予想： 中期計画からの変化点

FY18 中期計画 (2016/5/12発表)

売上高	4,300億円
営業利益	130億円
当期純利益	40億円

(-) CATV関連機器事業の譲渡
中国ホームAV事業の縮小
新興国市況を反映したカー
エレクトロニクスの売上減
為替レート見直し

(-) 売上の減少
為替レート見直し

(-) 営業利益の減少
(+) 事業構造改善費用の減少

FY18 業績予想 (2017/5/12発表)

売上高	3,900億円
営業利益	100億円
当期純利益	35億円

Pioneer